

2024年12月17日
日本プロジェクトマネジメント協会

PMAJ 事務局長 殿

SIG 新設提案書(設立趣意書)

1. 新設提案 SIG 名

「AI エージェント活用 PM SIG」

2. 提案者(発起人)

浦田 敏 (電脳バンク株式会社)

※メンバーは今後募集

3. 活動の目的

近年、AI 技術が実用段階を迎え、プロジェクトマネジメント領域でも、チャット GPT をはじめとする意思決定支援ツールや予測分析システムなどの AI 活用が、理論上の期待にとどまらず現場での有効性を示しつつある。こうした中、PMAJ (Project Management Association of Japan) としても、AI を用いたプロジェクトマネジメントの実践と知見共有において、具体的な取り組みが求められている。一方で、昨今の技術動向を踏まえると、AI エージェントの活用により、プロジェクトマネジメントの効率性・精度・透明性が一層向上し、チームや意思決定者が戦略的かつ迅速に行動できる環境を整備することが可能となってきた。そこで、AI エージェントを含む先進的な AI 技術をプロジェクトマネジメントに効果的に組み込むため、専門的に研究・情報発信・人材育成を行う活動組織「AI エージェント PM SIG」を設立することを起案する。

4. 活動内容

PM-AI エージェントの研究およびコミュニティとの関係性維持・強化のため、以下の活動を想定する。

1. AI に関する勉強会の実施
2. AI エージェント技術動向・PM 適用事例の情報収集と情報提供
3. AI 活用に関する要望等に関するアンケート収集の実施
4. 活動成果の発表

5. 活動成果の PMAJ へのフィードバック

以下の方法で、活動成果を PMAJ 本体および会員へ還元する。

- ① 活動状況や中間報告、成果の概要を PMAJ ジャーナルやオンラインジャーナルで発信

- ② 定期的に「PM-AI エージェントセミナー(講演会)」を開催し、最新動向や研究結果を会員に共有
- ③ 年次 PM シンポジウム等の場で研究成果を発表
- ④ 活動年度末に活動報告書を作成し、PMAJ 理事会・会員へフィードバック

6. 活動期間

PM-AI エージェント領域は技術進歩が著しく、継続的なフォローが不可欠である。一方で、技術革新による前提条件の変化も考慮する必要があるため、まずは1年間の活動とし、翌年以降の継続性や方向性については、その成果および状況を踏まえて検討する。

7. メンバーの募集方法と運営ポリシー

(1)メンバー募集方法

- ・ PMAJ HP での公募による参加者募集
- ・ 既存 SIG メンバーや有識者からの紹介による参加者拡大

(2)運営ポリシー

- ・ SIG 会合は月1回程度、メンバー間で合意した時間帯に開催。ZOOM ミーティングもしくは PMAJ 会議室、あるいはハイブリッド形式で行う。
- ・ 情報共有・意見交換は e-Mail、PMAJ の Teams、OneDrive 等のオンライン環境を活用。
- ・ 運営はメンバー間の「Give & Take」の精神に基づき、対等な立場で合意形成を図る。
- ・ 情報交換時には、企業機密や個人情報保護に留意し、適切な情報管理を行う

8. PMAJ にとってのメリット

- ・ AI エージェント活用という新領域での研究・実践を通じて、PMAJ の強みである先進的知見を蓄積し、国内外コミュニティとの連携強化につなげることができる。
- ・ 会員が共通の関心領域(PM-AI エージェント)に基づく研究を行うことで、PMAJ への帰属意識・求心力を高める。
- ・ 成果を積極的に発信することで、PM 実務者や産業界へ貢献し、PMAJ ミッションである日本のプロジェクト遂行能力・競争力強化に資する。
- ・ 活動を通じ、PMAJ のプレゼンス強化、会員増加、会員活動の活性化につながる。

9. 予算措置

必要に応じて別途申請・承認を得る。

以上